KDDI MUSEUM

国際通信150年の歩みと通信がひらく未来

先人たちの挑戦の歴史に学び、
未来をデザインするミュージアム

## 未来をひらく一歩を、ここから

人と人がつながって、
可能性が広がる。未来が始まる。
KDDIはそう信じて、人と人を通信でつないできました。
暮らしや社会を、もっと便利で豊かにしたい。
期待を超える感動を届けたい。
だからこそ、いつの時代もお客さまと共に、
新しいコミュニケーションの領域に挑んできました。
KDDI MUSEUMには、通信の歴史を拓いてきた
先人たちの革新性が息づいています。
その想いに触れることで、
きっと、新たなインスピレーションが生まれる。
一人ひとりに秘められた創造力が、躍動を始める。
歴史は、未知の世界への扉。
新しい挑戦が、次々と広がっていく。
さあ一緒に。未来をひらく一歩を、ここから。

Spark Your Journey
KDDI

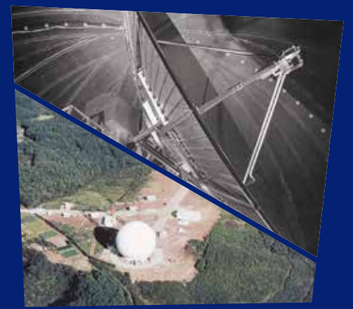
## KDDI MUSEUM オススメ スポット



### 長崎からウラジオストクまで 1,000kmの海底ケーブル!?

1871(明治4)年、長崎に陸揚げされた
海底電信ケーブルで、日本は世界とつながりました。
日本の国際通信の発展には、
先人たちの様々な挑戦がありました。
貴重な資料とともに、学んでいきましょう。

## 先人たちの挑戦に学ぶ



### 衝撃!初の日米間テレビ宇宙中継!

初の日米間テレビ宇宙中継実験で送られてきたのは
予定されていたケネディ大統領のメッセージではなく、
大統領暗殺を伝える衝撃のニュース映像だった!
奇しくも、"世界の「いま」を即時に「つたえる」"という
衛星通信の威力が示された、歴史的な日でもありました。



### 基地局を設置して街を発展させよう!

ARを使った参加型のアトラクション。
チームになって携帯電話の基地局を設置して、
街を発展させよう!
ケータイのエリアが完成したその先に
待っている出来事とは…?
その目で確かめよう!

## 最新技術に触れる



### つなぐチカラでミライをひらく

環境を守り、安全でおいしいお米をたくさん作る農業の現場で
通信とAIが活躍?
データを使って水の管理を自動化し、
労働力不足の問題も解決する仕組みとは。
今や通信・AIは社会や産業の至る所に溶け込み、
さまざまな課題を解決しています。



### au Design project 世界唯一の全ラインアップ展示

au携帯電話・スマートフォン約500台と
au Design projectの製品・コンセプトモデルが
壁面いっぱいに展示!
au Design projectの全ラインアップが
ご覧いただけるのは、唯一このミュージアムだけ!



## ここだけ・今だけできる体験



### 空が見えれば、どこでもつながる

KDDIは日本が1956年に第1次南極地域観測隊を派遣して以降、
通信で南極観測を支えてきました。
ここでは南極観測の世界と南極の神秘的な自然を映像とジオラマ
でご紹介いたします。

## ご利用案内

KDDI MUSEUM と KDDI ART GALLERY は
事前予約制となります。サイトにアクセスし、ご予約をお願いします。
https://www.kddi.com/museum/guide/

■開館日　平日（月～金）、毎月第２土曜日

■開館時間　10:00～16:30（最終入館 16:00）

■休館日　当館WEBサイトをご確認ください。

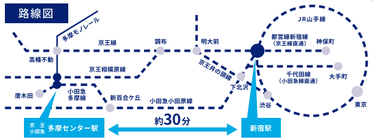
■入館料　一般300円（税込）

※両施設共通
※大学生以下無料
※障がい者手帳ご提示の方および介護者は無料

■ご利用可能なお支払い方法

現金、クレジットカード、電子マネー
※詳細は当館WEBサイトをご確認ください。

## アクセスマップ




小田急多摩線/京王相模原線 多摩センター駅から徒歩10分
多摩モノレール多摩センター駅から徒歩8分




〒206-0034
東京都多摩市鶴牧3-5-3　LINK FOREST 2F　※専用駐車場はございません。

KDDI MUSEUM
https://www.kddi.com/museum/

## 1 THEATER-I



約10mの円形映像シアターです。
約540インチサイズの迫力ある映像を
お楽しみください。

## 2 A ZONE 日本の国際通信

――世界とつながる

オススメスポット



### 日本の国際通信のはじまり

1871（明治4）年、日本は長崎に建てられた海底線陸揚庫（ケーブルハット）に引き込まれた海底電信ケーブルで世界と初めてつながりました。当時の予備通信席を復元しています。



### 世界とつながる ―海底電信―

日本はどのような経緯で世界とつながったのか？パネルや国際電報の送受信に使用された電信機（実物）の展示でご紹介します。



### 電波でつなぐ ―無線通信―

電波の発見によって、国際通信の主役は海底電信から無線に代わっていきます。長波送信所の建物に設置された巨大な碍子、短波無線通信用に開発された真空管を展示しています。



### 戦後の国際通信 ―KDDの設立―

第二次世界大戦後、限りある周波数を効率的に使用し、高い通信品質で日本の国際社会復帰を支えることが、新しく設立された国際電信電話株式会社（KDD）の使命でした。

オススメスポット



### 宇宙への挑戦 ―衛星通信―

高度経済成長期、日本は米国が提唱する衛星通信ネットワーク構想に参画。初の日米間テレビ宇宙中継実験はKDD、電機メーカー、放送局の技術者たちの大きな挑戦でした。



### 深海への挑戦 ―海底ケーブル通信―

日本の国際通信の99%は光海底ケーブル経由で行われているのをご存じですか？こちらでは、ケーブルシップをVRスコープで探検したり、海底ケーブルの実物に触れることができます。

## 3 B ZONE 通信市場参入と挑戦の軌跡

――暮らしを変える



### THEATER-II

1985（昭和60）年、KDDIの前身会社のひとつ第二電電（DDI）は通信市場への参入を表明。しかしそこにはさまざまな困難がありました。15年にわたる挑戦の軌跡を映像でご紹介します。



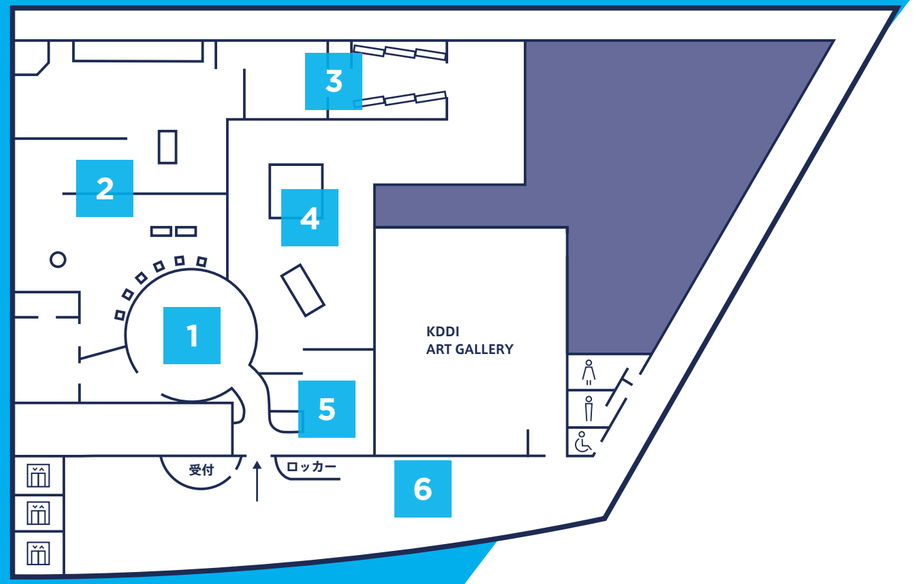
### Episode Gallery

通信事業への参入から15年間、DDIと日本移動通信（IDO）はたくさんの挑戦を繰り返してきました。こちらでは６つのエピソードをピックアップして当時の資料とともに展示しています。



### 通信おもいでタイムライン

1985年から2000年までの通信と社会の出来事を年表形式で振り返るコーナーです。皆さんは当時、どこで誰とどのようなコミュニケーションをしていましたか？




## 4 C ZONE KDDIの挑戦

――未来を共につくる

オススメスポット



### au Gallery

auブランドの携帯電話・スマートフォン約500台とau Design projectの製品およびコンセプトモデルを壁面いっぱいに展示しました。au Design projectの全ラインアップがご覧いただけるのはここだけです。



### 大阪・関西万博「未来の都市」―Mirai Meeting アーケード―

2025年に開催された大阪・関西万博で展示されたMirai Meeting アーケードを再現。タッチパネル上の「ミライボール」を投げて未来を変える体験ができるゲーム形式のコーナーです。



### au Historical Road

KDDIは2000年10月の発足以降、業界初のガク割やパケット定額制などの料金プランを導入したり、音楽配信サービスLISMOなどのサービスを拡充させてきました。その歴史を年表で振り返ります。

オススメスポット



### Tomorrow, Together City

ARを使ったアトラクション。チームになって街に携帯電話の基地局を設置してエリアを充実させていこう。ケータイのエリアが完成したその先に待っている出来事は…？

オススメスポット



### つなぐチカラ、ひらくミライ

人口減少、労働力不足、環境問題など、年々増大する日本の社会課題。
課題解決に挑戦するKDDIの取り組みを産業別に事例を交えて紹介しています。



### ずっと、もっと、つなぐぞ。

私たちKDDIは社会を支えるインフラ企業として、いかなる状況においても24時間365日、安定した情報通信サービスを皆さまへ提供し「つなぐ」ことを使命としています。ここでは、KDDIの災害への取り組みをご紹介します。

## 5 D ZONE EXHIBITION

オススメスポット



壁面の大スクリーンとジオラマ上に映し出すARで、南極観測の世界と南極の神秘的な自然をご紹介します。
ジオラマで再現された昭和基地ではARの隊員たちが活動中！奮闘する様子をご覧ください。

## 6 Photo Spot マチカメ



スマホで撮れない、映える瞬間を！
自分のスマートフォンでシャッターが切れる、設置型高機能遠隔撮影システムをお楽しみください。

## KDDI ART GALLERY

### 「先端技術と芸術の出会い」

「先端技術」と対比した「感性との出会い」をコンセプトにし、日本画、洋画、ガレ・ドーム兄弟のガラス作品など多彩な作品をご紹介しています。
ARを活用した新しいアート鑑賞もお楽しみいただけます。

